

平成26年度恵み野商店会が(一社)北海道まちづくり協議会(以下、「北まち」と言います。)の賛助会員として入会しました。

平成26年度末で北まちの街の中心地区活性化研究会は解散し、平成27年度は恵み野同好会として、昨年度に引き続き恵み野商店会の方々と意見交換を行っています。今回は、平成27年10月に開催しました意見交換会の概要をお伝えいたします。

第12回 恵み野商店街活性化意見交換会

開催日：平成27年10月6日(火) 19:00~21:00

場 所：恵庭リサーチビジネスパーク

参加者：恵み野商店会(10名) 恵庭市(1名) 北まち(9名)

意見交換会のテーマ

○商店会今年度の活動状況等の報告について

主な内容

恵み野商店会では、平成26年度は、経済産業省の補助金を活用し、商店街マップや花壇づくりを行ってきました。

今年度は、昨年度に引き続き、花壇整備を行っています。

これらの状況を踏まえ、今回の意見交換では、平成24年度からの3年間、北まちのメンバーと関わってから、商店会の変化などについて意見交換会を行いました。



商店会からは以下のような報告がありました。

○商店会や街並みの変化について

- ・花壇整備などを通じて、目に見えるところで商店街が変わってきており、各店舗の方々と顔が分かるような商店街になってきたと思う。
- ・花壇整備を通じて、お客さんから安心を感じる商店街になったと言われたこともあった。
- ・今まで話をしたことがない店主と花壇整備を通じ話ができるようになり、今では世間話もできる関係になったので、近隣との関係が円滑になってきたことが変わったところだと思う。
- ・また、草木に気かけることが少ないであろう学生が花壇の花をきれいだと友達と話しているのが聞こえたことが印象的であった。
- ・花壇整備を通じて、日々の努力が重要だと改めて感じた。
- ・花壇整備を行い、商店街がきれいになったことで、お客さんと会話するきっかけができた。
- ・一年間同じこと(事業)を今までは行っても頓挫することがあったが、北まちとの付き合いを通して昨年度からマップや花壇整備など、通年で取り組む事業ができたことが良かったと思う。
- ・今まで、イベント等の事業を商店会で取り組んでも関わりを持つ商店に限られていたが、今年からは、色々な商店が協力的になってきたので、組織としても充実してきたと思う。

○今後の取組について

- 花壇が新しくなったことをきっかけに外部空間で新たな取り組みをしてみたい。
- 今後は、花（花壇）だけでなく商店主などの「人」でも注目されるような商店街にしていきたい。
- 今年度は「晩飯市」を試験的に行って評判が良かったので、これからも続けていきたい。

北まちからは今後の取り組みについて以下のような意見が出されました。

- 花壇整備によって街並みがきれいになったことを維持しながら、来街者が一日商店街で過ごせるような企画や情報発信を検討してみてもどうか。
- また、いつも言うことだが、このような変化を皆で共有し、商店会のあるべき姿（目標）について話し合いを継続的に行ってはどうかと考える。
- イベントに関しては、商店会で企画運営するもの良いが、他の地域の人が、参加できるイベントも良いと考える。（商店街を会場として他の地域がイベントを行うなど）
- イベントが増えていく事により事業費もかさんでくる。事業の中で今後のイベント等の事業費を捻出する仕組みを考えてみてはどうか。
- 商店街の店舗構成を維持するために、商店会組織が空き店舗を購入し、商店会がほしい業種を誘致している事例がある。
- 今後は人口減少が一段と加速するので、商店会として空き家対策や地域住民を減らさない魅力ある商店街についてそろそろ検討しても良い時期だと考える。

以上

最後になりますが、意見交換の冒頭、昨年度から行ってきた花壇整備が「第26回緑の環境デザイン賞」（都市緑化機構と第一生命保険の主催）で最高賞である国土交通大臣賞を受賞したと報告がありました。

恵み野商店会の皆様、おめでとうございます。

発行：恵み野商店会

事務局：恵庭市恵み野西6-21-5ベーカリーハウス ピーコック内

本紙や意見交換会の会議録、平成24年度の成果品（報告書・資料等）などは、以下のURLからダウンロードできます。

<http://kitamachi.org/megumino/wp/>